要　　旨

<u>試験委託者</u>

環境庁

<u>表　　題</u>

1, 3, 5-トリス(2-ヒドロキシエチル)-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6(1H, 3H, 5H)-トリオンのオオミジンコ（*Daphnia magna*）に対する繁殖阻害試験

<u>試験番号</u>

９Ｂ４９２Ｇ

<u>試験方法</u>

本試験は，OECD 化学品テストガイドラインNo. 211「オオミジンコ繁殖試験」（1998年）に準拠して実施した。

1) 被験物質：　1, 3, 5-トリス(2-ヒドロキシエチル)-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6(1H, 3H, 5H)-トリオン

2) 暴露方式：　半止水式（48時間毎に試験液の全量を交換）
水面をテフロンシートで被覆

3) 供試生物：　オオミジンコ（*Daphnia magna*）

4) 暴露期間：　21日間

5) 試験濃度(設定値)：
対照区，　100mg/L（限度試験）

6) 試験液量：　80 mL／容器

7) 連数：　10容器／濃度区

8) 供試生物数：10頭／濃度区（1頭／容器）

9) 試験温度：　20±1℃

10) 照明：　16時間明／8時間暗

11) 分析法：　ＣＥ法

結　　果

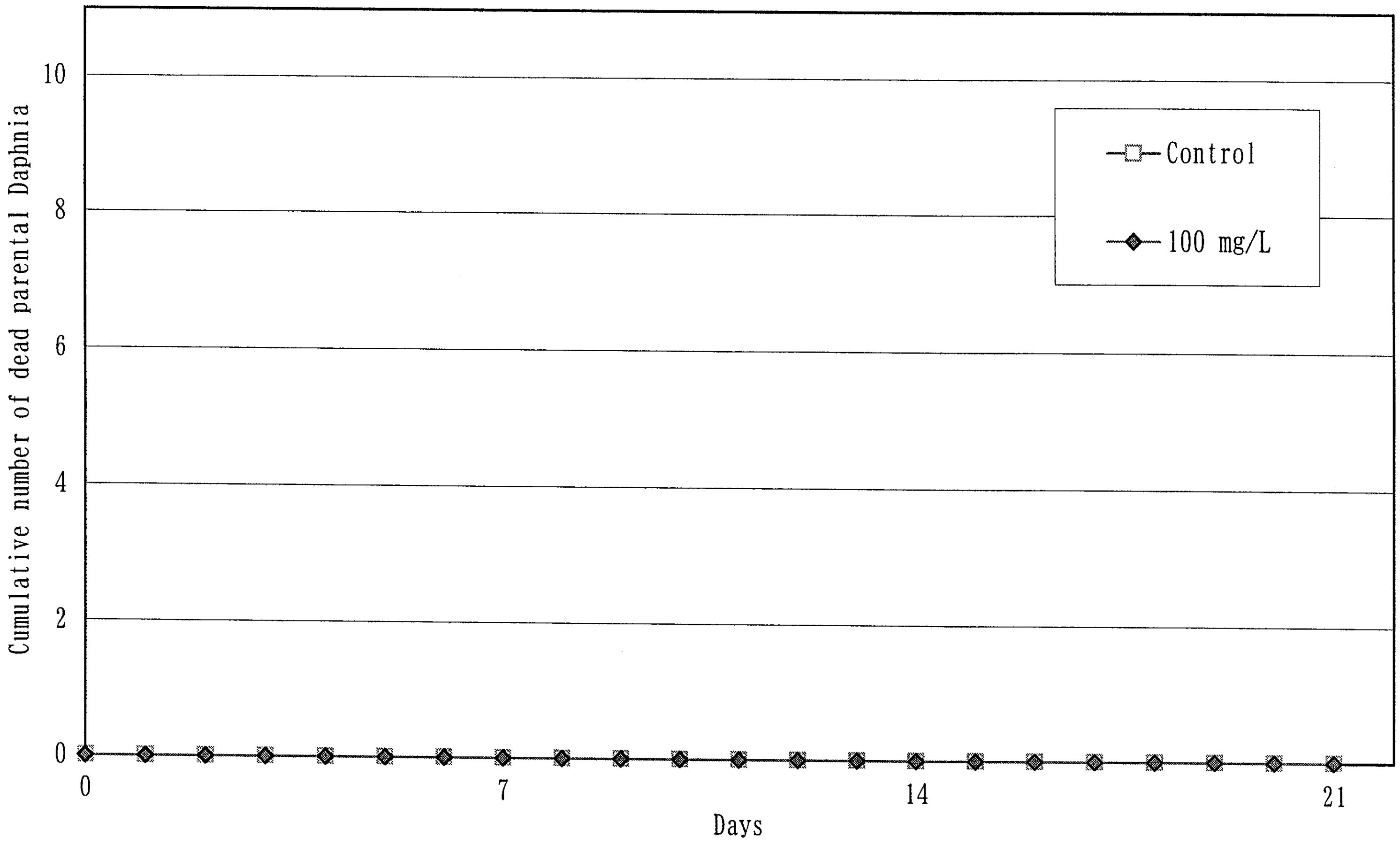
1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定値の±20％以内であったため，各影響濃度の算出には設定値を採用した。

2) 21 日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

親ミジンコの半数致死濃度（LC50）：	＞100 mg/L (95％信頼限界 ：算出不可)
50％ 繁殖阻害濃度（EC50)：	＞100 mg/L (95％信頼限界 ：算出不可)
最大無作用濃度(NOEC) ：	＞100 mg/L
最小作用濃度(LOEC) ：	＞100 mg/L

Figure 1 Cumulative Numbers of Dead Parental *Daphnia*

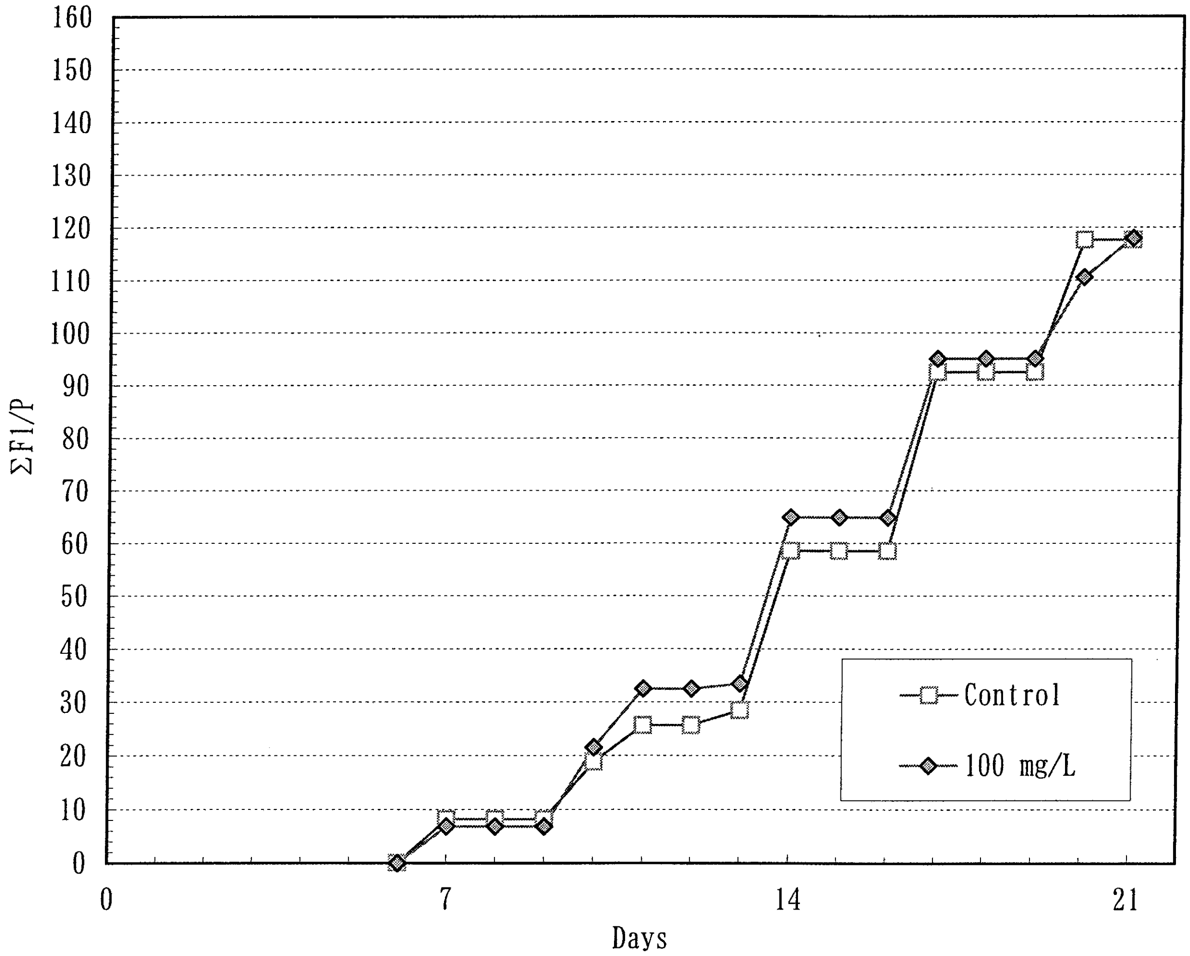


Values in legend are given in the nominal concentration.

Table 4 Mean Cumulative Numbers of Juveniles Produced per Adult Alive for 21 Days (ΣF1/P)

Nominal Conc.	Days															
	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
Control	0.0	8.2	8.2	8.2	18.9	25.7	25.7	28.5	58.6	58.6	58.6	92.5	92.5	92.5	117.7	117.7
100 mg/L	0.0	6.8	6.8	6.8	21.6	32.5	32.5	33.5	64.9	64.9	64.9	95.1	95.1	95.1	110.6	118.0

Figure 2 Time Course of ΣF1/P for Each Concentration Level



Values in legend are given in the nominal concentration.

要　　旨

試験委託者

環境庁

表　　題

1,3,5-トリス(2-ヒドロキシエチル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6(1H,3H,5H)-トリオンのヒメダカ（*Oryzias latipes*）に対する急性毒性試験

試験番号

９Ｂ５１４Ｇ

試験方法

本試験は，OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類毒性試験」（1992年）に準拠して実施した。

1) 被験物質：　1,3,5-トリス(2-ヒドロキシエチル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6(1H,3H,5H)-トリオン

2) 暴露方式：　半止水式（24時間毎に試験液の全量を交換），水面をテフロンシートで被覆

3) 供試生物：　ヒメダカ（*Oryzias latipes*）

4) 暴露期間：　96時間

5) 試験濃度（設定値）：対照区，100mg/L（限度試験）

6) 試験液量：　5.0L／容器

7) 連数：　１容器／濃度区

8) 供試生物数：　10尾／濃度区

9) 試験温度：　24±1℃

10) 照明：　室内光，16時間明／8時間暗

11) 分析法：　ＣＥ法

結　　果

1) 試験液中の被験物質濃度：測定濃度は設定濃度に対して±20%以内であった。したがって，結果の算出は設定濃度に基づいて行った。

2) 96 時間の半数致死濃度（LC50）：>100 mg/L